

目標

基本方針

◆法人が掲げる理念の下、第1期中期目標期間に積み重ねた成果をいかし、市民のいのちと健康を支える最後の砦となる自治体病院として、必要な医療を提供する。

- (理念)京都市立病院機構は
- 市民のいのちと健康を守ります
 - 患者中心の最適な医療を提供します
 - 地域と一体となって健康長寿のまちづくりに貢献します

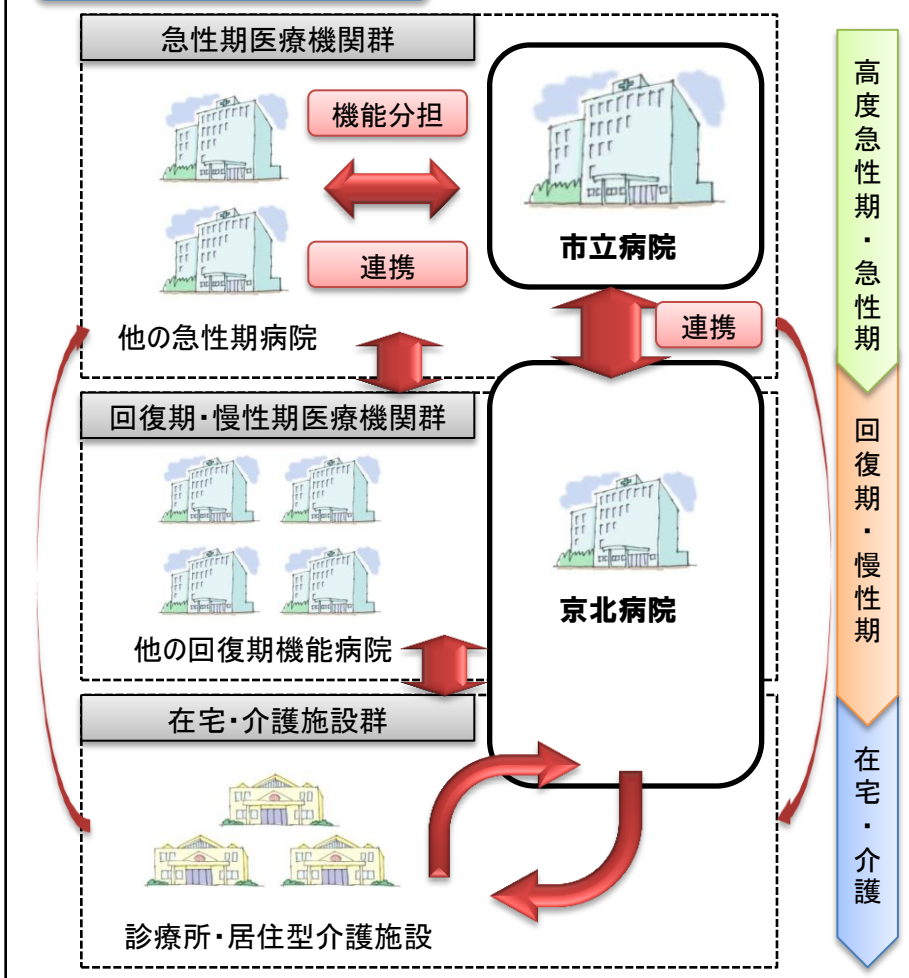
◆市立病院は、第1期中期目標期間で整えた医療機能をいかし、救急医療、高度医療、感染症医療、災害対策等の政策医療を中心に、地域の中核となる基幹的医療機関としての役割を果たすとともに、在宅医療を担う地域の医療機関等と連携する。

◆京北病院は、高度医療を提供する市立病院との一体的運営の下に、在宅医療機能を発揮するなど、引き続き、地域に根差した医療機関としての役割を果たすとともに、京北病院の機能強化の検討を行う。

◆機構の経営面においては、第1期中期目標期間中に達成した市立病院における着実な収益の向上と京北病院における単年度黒字化の実績を基に、引き続き経営基盤の確立に取り組む。

果たすべき医療機能

地域包括ケア体制



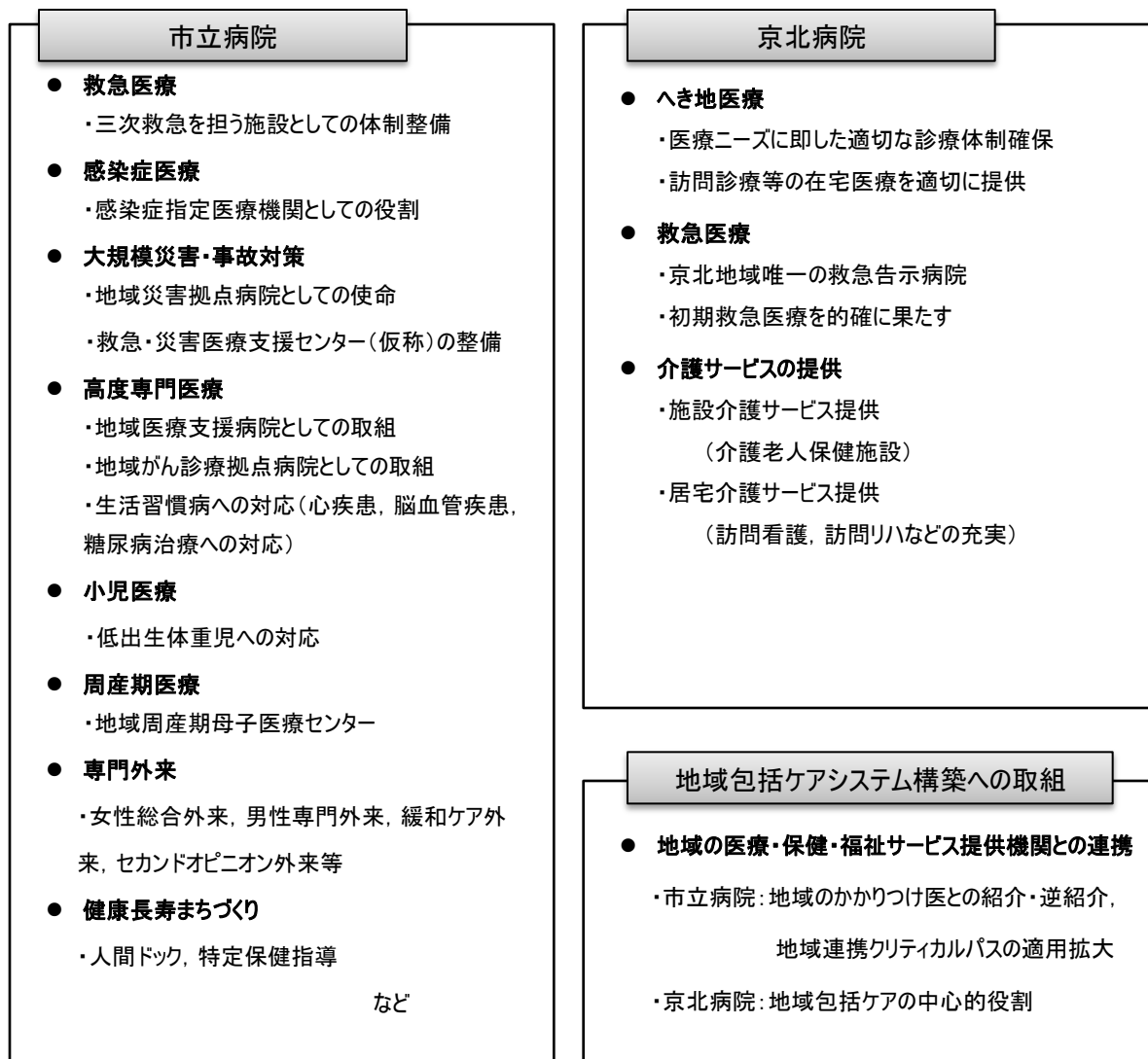
- 【市立病院】
- 高度な急性期医療の提供
 - 病床の機能分化・連携の下、地域の医療施設等との役割分担、連携・協力体制を構築する

- 【京北病院】
- 急性期～在宅領域への対応
 - 二次救急医療以上は、市立病院等の急性期医療施設と連携
 - 京北地域の医療確保に注力する

良質な医療提供に向けた重要事項

1. 医療機能の充実

市民に対して提供する医療サービス及び医療技術の向上



2. 安全な医療の提供

市民に対する安心・安全な医療を提供するための運用体制の維持

3. 経営基盤の確立

経営機能の強化、収益的収支の向上

優秀な人材の確保・育成

その他業務運営に関する事項

医療安全に関する項目を新たに設置

現目標の財務内容の改善をここに包含

診療報酬の改定等、情報の収集及び分析を行い、的確な対応を行うことで診療収入を確保するとともに、効率的な経営に努め、自立した運営の下、適切な運営費交付金を中期計画に計上する

職場環境を整備し、医療に関する倫理観と専門知識・技術を持った職員の計画的な育成に努める

市立病院整備運営事業におけるPFI手法を活用することで、効率的な病院運営を推進し、患者サービスの向上を図る